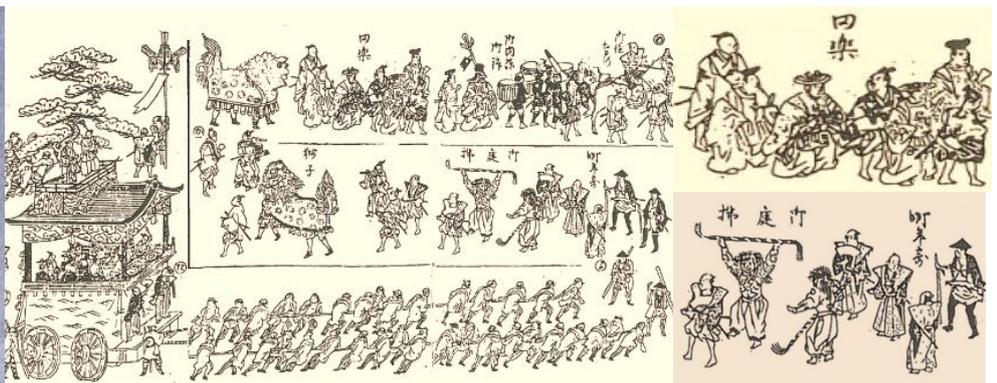


2015.7.22 (レポーター：石原 英子)



「東照宮御祭礼略図繪」文化12年(1815)

神輿行列の様子が詳細に描かれたコンパクトな案内書(パンフレット)。聞きしに勝る盛大な祭事であったことが窺えます。

徳川家康没後400年を迎える今秋、広島東照宮で挙行される『通り御祭礼』。

これに先立ち、当館では広島東照宮『通り御祭礼』展を開催しています。

200年前(文化12年)の貴重な「東照宮御祭礼略図繪」。当時の絢爛豪華な祭礼の様子が一目で分かる大パノラマ展示。細かな装飾を施した神輿や山車、華やかな祭道具に衣装、子供歌舞伎や祇園囃子の賑わい、祭り人のコミカルな表情、躍動感ある行列模様。

新たに発見された250年前の「御祭礼御行烈略図繪」も展示。

遙か昔の祭り人の思いや神輿からのメッセージに耳をかたむけてみませんか。

壮大な神輿祭礼の世界にいざないます。



(七共) 行列代非社前津鏡島書

明治43年の時代行列



平成10年に開催された東照宮創建350年祭の神輿行列の映像を流しています



石引台花車

東照宮鳥居



通り御祭礼の変遷 ～官から民へ～

1648（慶安元年）
徳川家康 33 回忌

1650（慶安 3 年）
9 月 17 日初祭礼が
厳かに執行

1666（寛文 6 年）
●第 1 回（50 回忌）
厳粛かつ整然に実施
『通り御祭礼』の始まり

1715（正徳 6 年）
●第 2 回（100 回忌）
“莊重厳肅”
城下町町衆が初参列

1765（明和 3 年）
●第 3 回（150 回忌）
“簡易質素”
藩主行列・城下町の祭礼
城下町寄附の石引台 1 台

1815（文化 12 年）
●第 4 回（200 回忌）
石引台は 5 台に増え、豪
華さを競う。渡御・還御
行列（往復）が市中を通
過し、その見物も許可さ
れ、イベント化

1865（慶応元年）
長州征伐のため中止

1915（大正 4 年）
第一次世界大戦の
ため中止

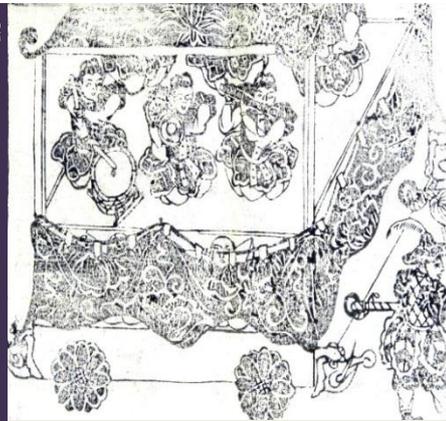
1965（昭和 40 年）
原爆被害からの復興
途上のため中止

2015（平成 27 年）
●第 5 回（400 回忌）
10 月 10 日に東照宮から
饒津神社まで約 500 名
の神輿行列が復活する予定

※1998（平成 10 年）
広島東照宮創建 350 年祭
（11 月 8 日に一部再現）



Close-up



ごさいれいおぎょうれつりやくえず
「御祭礼御行烈略絵図」明和 2 年（1764）
今回新たに発見された 250 年前の絵図



にひゃっかん みこし
二百貫神輿
原爆による焼失を免れた約 800 kg のモノいわぬ証人



ちそく ぶぎょう
遅速奉行
行列の速度を調整するペースメーカー

平和をことほぐ祭典“通り御祭礼”

“通り御祭礼”は、過去、幕末の動乱や相次ぐ戦争により、一時中断した歴史がありました。しかし、今年 200 年振りに甦ります。折しも、被爆 70 年を迎え、奇跡的に戦火を免れた二百貫神輿は、広島で平和を願う私たちに何を語りかけているのでしょうか。

かつて、広島の伝統文化の象徴でもあったこの壮大な祭りが、現代の広島県民のアイデンティティを下支えする大切な文化であった気がします。

天下泰平の世であってこそ、祭りは継承され、成熟された文化となります。

この歴史的価値ある史料を、観光資源として、国内はもとより広島を訪れる

海外の方々にも多く知っていただきたいと思えます。

このような貴重な史料に出会えたことに感謝します。少しでも多くの方々にご紹介し、後世に伝承していくことが私たちの使命だと考えています。

“通り御祭礼”が広島の秋の祭りとして定着することを願います。

教科書には記載されていない神輿の歴史や、麒麟獅子舞、道を清める神職、雅楽を奏でる楽人などの役目を、夏休みの自由研究の題材にはいかがでしょうか。

この夏休みに、ぜひご家族 3 世代で広島県立文書館へお越しください。

Event

広島神輿行列「通り御祭礼」

日 時：平成 27 年 10 月 10 日（土）
11 時出発予定
場 所：広島東照宮
東照宮～饒津神社間（約 1 km）往復

“通り御祭礼”が 200 年振りに絵図から飛び出し、現代の広島市に甦ります。

Exhibition

広島東照宮「通り御祭礼」展

～200 年振りに復活する城下町の祭り～
会 期：平成 27 年 9 月 17 日（木）
～10 月 12 日（月・祝）
（9 月 24 日～30 日は休館）
場 所：広島市立中央図書館
2 階展示ホール

文書館会期終了後も、同様の展示をご覧ください。

